

## 厚木市の教育を取り巻く現状

# 目 次

1 人口の動向.....	1
(1) 将来人口推計.....	1
2 学校教育環境の変化.....	2
(1) 児童・生徒及び学級数将来推計.....	2
(2) 特別支援学級の児童・生徒数及び学級数の推移.....	3
(3) 外国籍の児童・生徒数の推移.....	4
(4) 教職員の時間外勤務.....	5
(5) 学校施設の現状.....	6
(6) I C T 環境の整備・活用状況.....	7
3 子どもの状況の変化.....	8
(1) 全国学力・学習状況調査.....	8
(2) 全国体力・運動能力調査結果.....	10
(3) 児童・生徒の問題行動等の諸問題に関する調査結果.....	11
4 地域交流と生涯学習の変化.....	13
(1) 地域コミュニティ機能と家庭教育の重要性.....	13
(2) 生涯学習（輝き厚木塾）の参加者数.....	14
(3) 文化活動の実施状況.....	14
(4) スポーツ活動の実施状況.....	15
5 未来を見据えた課題.....	15
(1) 幼保小連携.....	15
6 市民意識の把握.....	16
(1) 市民実感度調査.....	16
(2) 市民意識調査.....	18
7 その他（教育関係予算について） .....	21

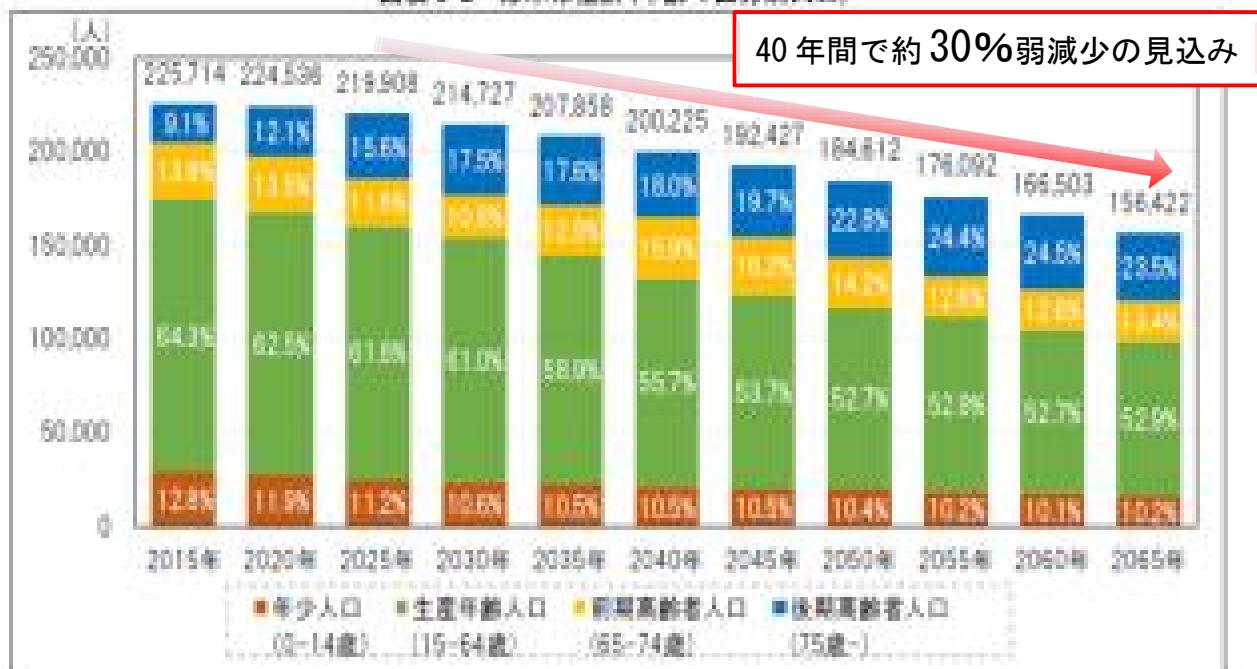
## 1 人口の動向

### (1) 将来人口推計

全国の総人口が減少することが見込まれる中、本市の人口も今後減少することが見込まれています。また、年少人口（0～14歳）の割合についても全国、本市いずれも減少することが見込まれています。

今後、本格的な人口減少や少子高齢化の更なる進展が見込まれます。

図表3-2 厚木市推計(年齢4区分別人口)



年次	厚木市推計 (人)	年少人口 (0~14歳) (人)	生産年齢 人口 (15~64歳) (人)	老年人口 (65歳以上) (人)	後期高齢者 人口(75歳以上) (人)	年少人口 割合	生産年齢 人口 割合	老年人口 割合	後期高齢者 人口割合
2015年	H27	225,714	28,952	145,047	51,715	29,630	12.8%	64.3%	19.5%
2020年	R02	224,536	26,751	140,243	52,542	27,297	11.9%	62.5%	25.5%
2025年	R07	219,908	24,549	135,817	50,442	34,246	11.2%	61.8%	27.0%
2030年	R12	214,727	22,859	131,087	50,782	31,567	10.5%	61.0%	26.3%
2035年	R17	207,858	21,795	122,481	53,592	35,622	10.5%	58.9%	30.6%
2040年	R22	200,225	20,965	111,427	57,833	36,006	10.5%	55.7%	33.9%
2045年	R27	192,427	20,131	103,285	60,011	37,976	10.5%	53.7%	35.9%
2050年	R32	184,612	19,322	97,330	62,160	42,002	10.4%	52.7%	36.9%
2055年	R37	176,092	17,574	93,106	65,012	42,894	10.2%	52.9%	36.9%
2060年	R42	166,503	16,874	87,754	61,871	45,817	10.1%	52.7%	37.2%
2065年	R47	156,427	16,539	82,603	57,693	46,704	10.1%	52.5%	36.9%

全人口のうち老年人口の割合が増加

出典：厚木市「第2期厚木市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略

(令和3 (2021) 年)」

## 2 学校教育環境の変化

### (1) 児童・生徒及び学級数将来推計

近年、児童・生徒数はいずれも減少傾向にあり、文部科学省による学校基本調査（令和6（2024）年度速報値）結果では、過去最少となりました。

本市の児童・生徒数も減少傾向となり、今後も引き続き減少することが見込まれます。



出典：厚木市教育委員会教育総務課作成資料

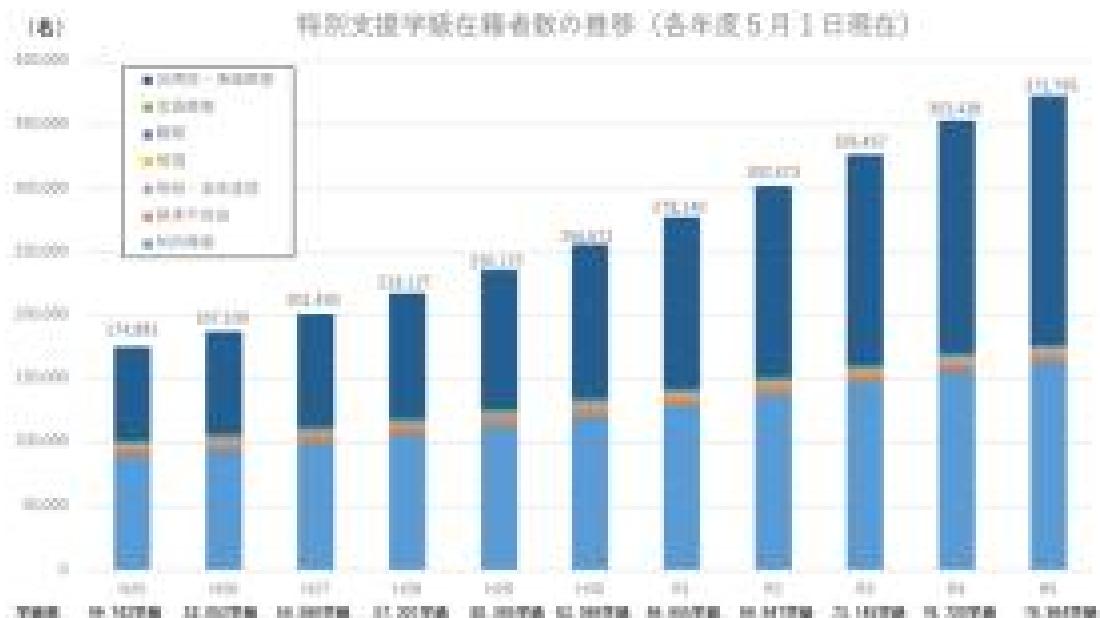
厚木市の児童・生徒及び学級数将来推計

（令和6（2024）年5月1日児童・生徒数に基づく）

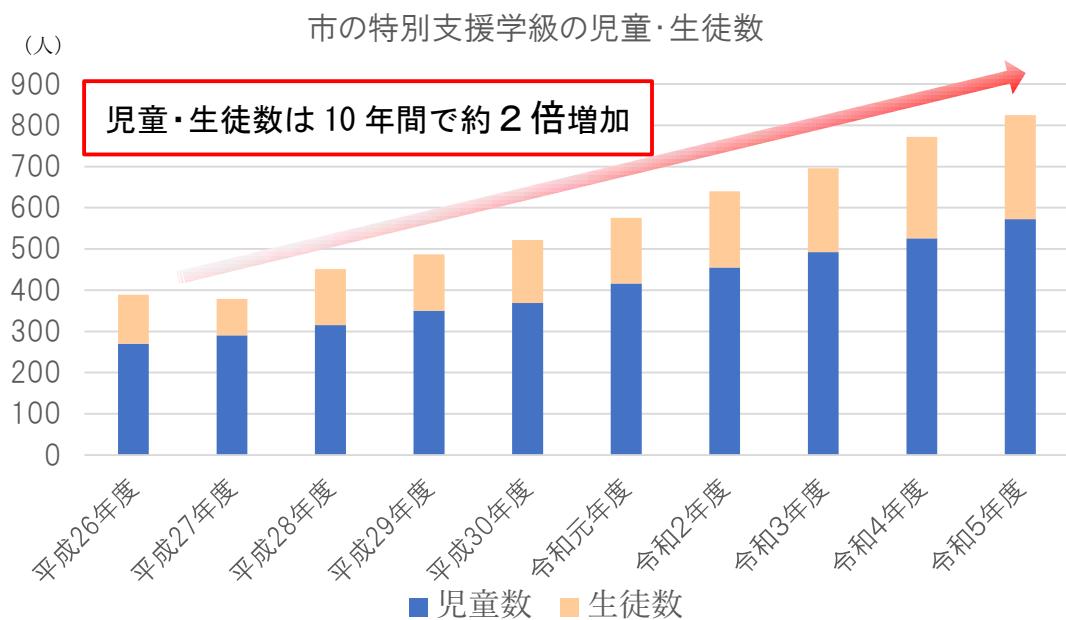
## (2) 特別支援学級の児童・生徒数及び学級数の推移

文部科学省による調査では、10年間（平成24（2012）年～令和4（2022）年）で義務教育段階の児童・生徒数は1割減少する一方で、特別支援教育を受ける児童・生徒数は倍増しています。

本市の特別支援学級の児童・生徒数についても増加が続いています。



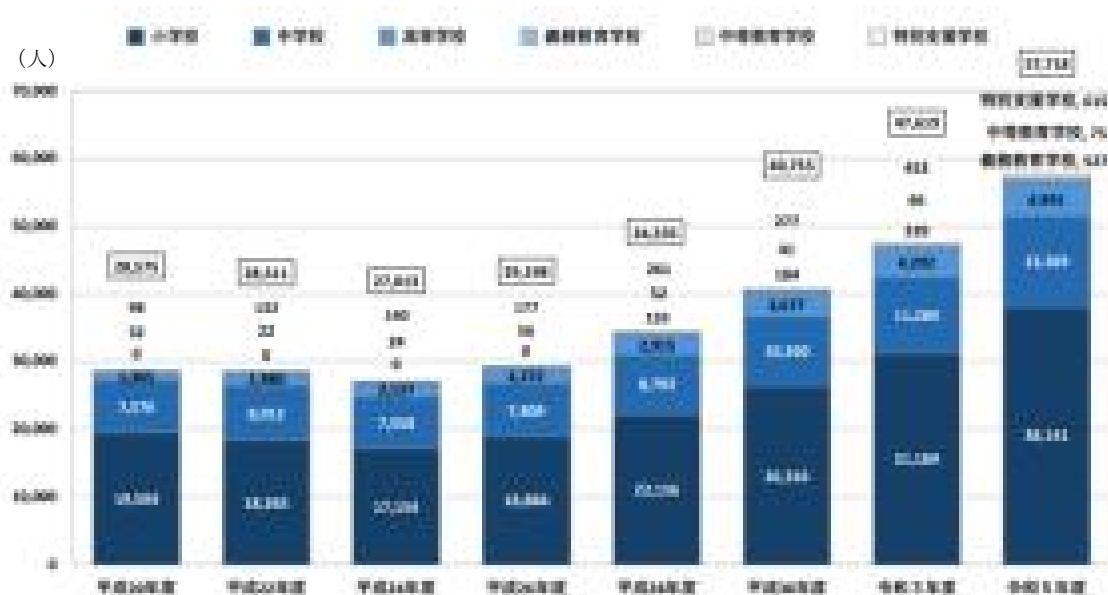
出典：文部科学省「特別支援教育の充実について（令和3（2021）年）」



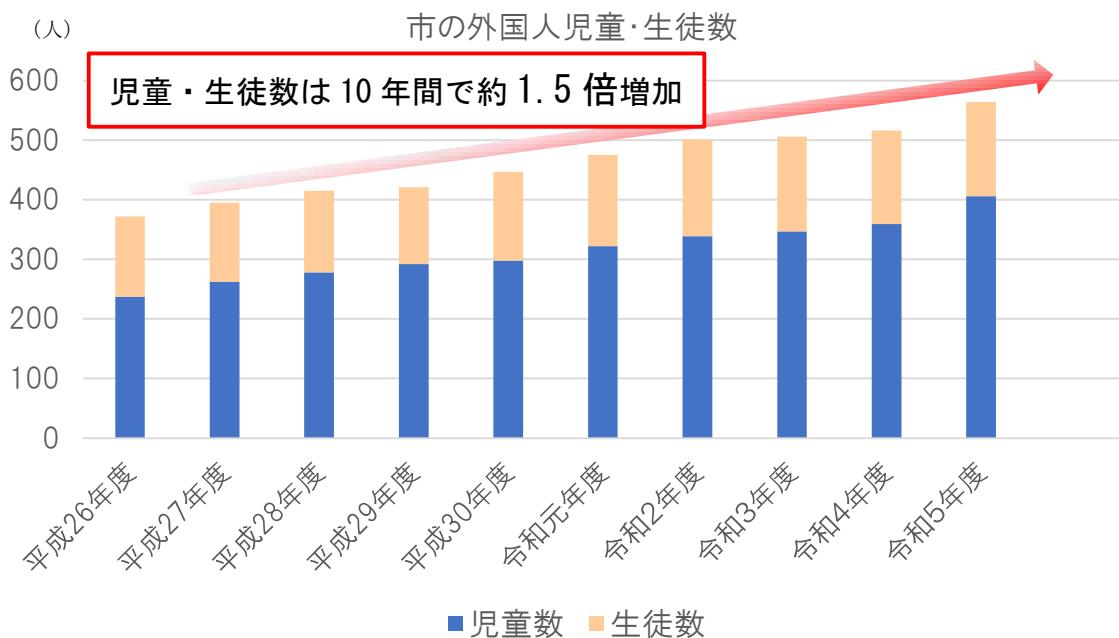
出典：厚木市「統計あつぎ（各年）」

### (3) 外国籍の児童・生徒数の推移

全国における日本語指導を必要とする外国籍の児童・生徒数は増加しています。本市においても外国籍の児童・生徒数は増加しています。



出典：文部科学省「令和 5 年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について（令和 6 （2024）年）」



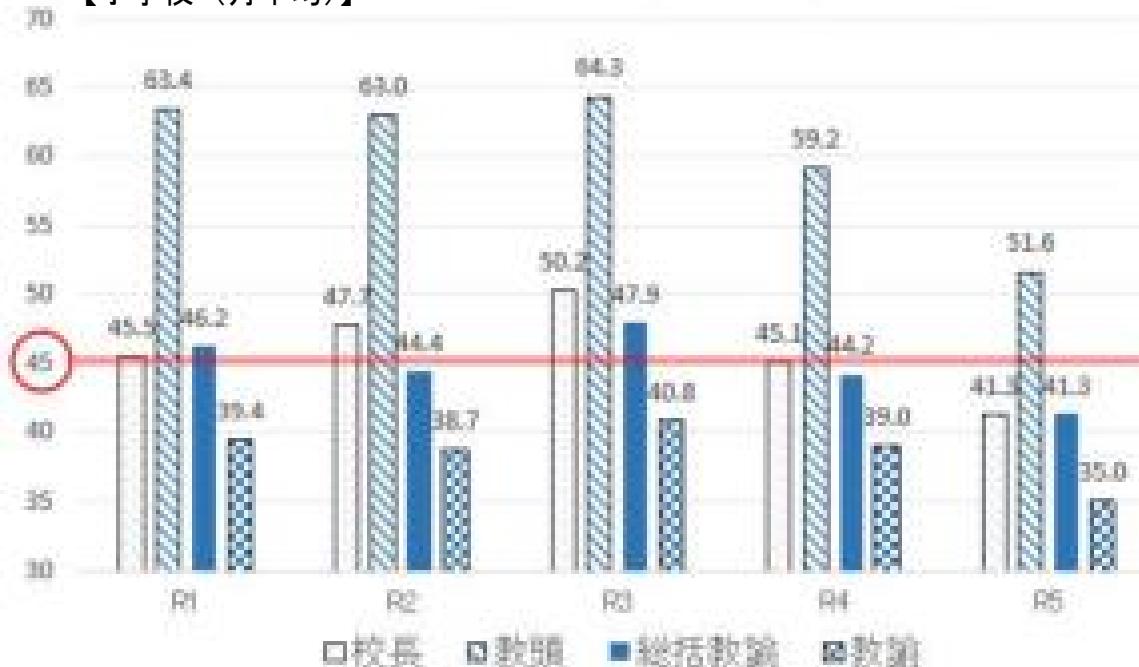
出典：厚木市「統計あつぎ（各年）」

#### (4) 教職員の時間外勤務

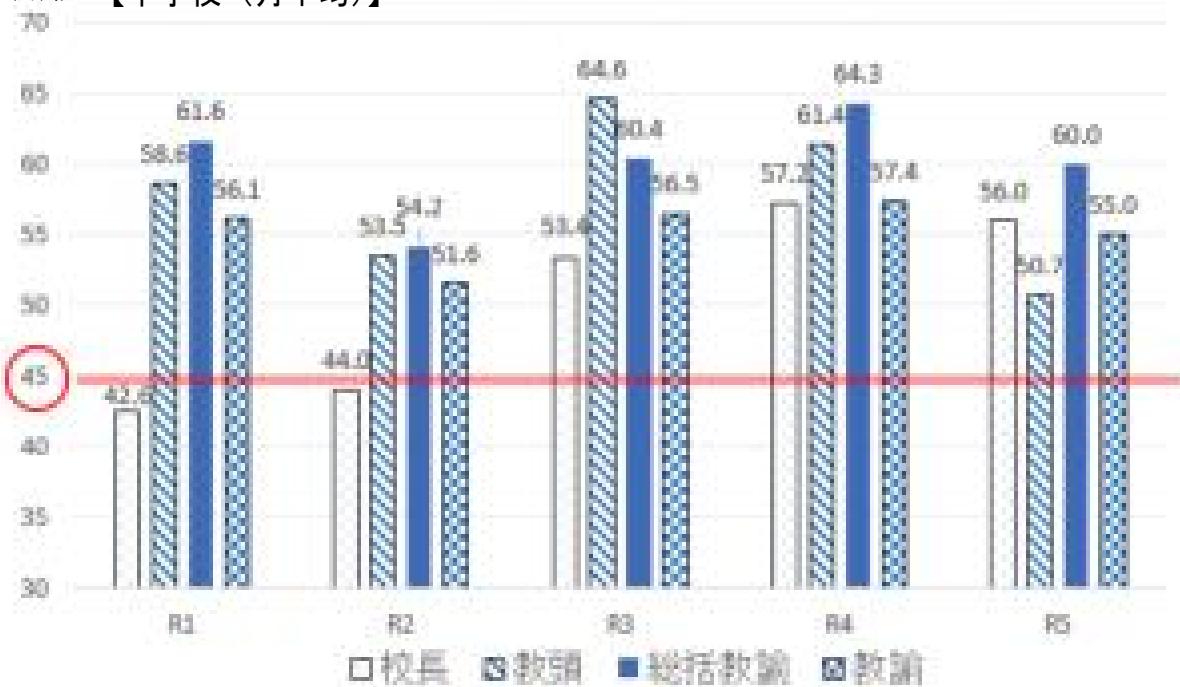
本市の市立小・中学校における教職員の月平均の時間外勤務は、小・中学校ともに長時間にわたっている状況が継続しています。

近年、小学校では減少傾向にありますが、中学校ではほぼ横ばいで推移しています。

(時間) 【小学校（月平均）】



(時間) 【中学校（月平均）】

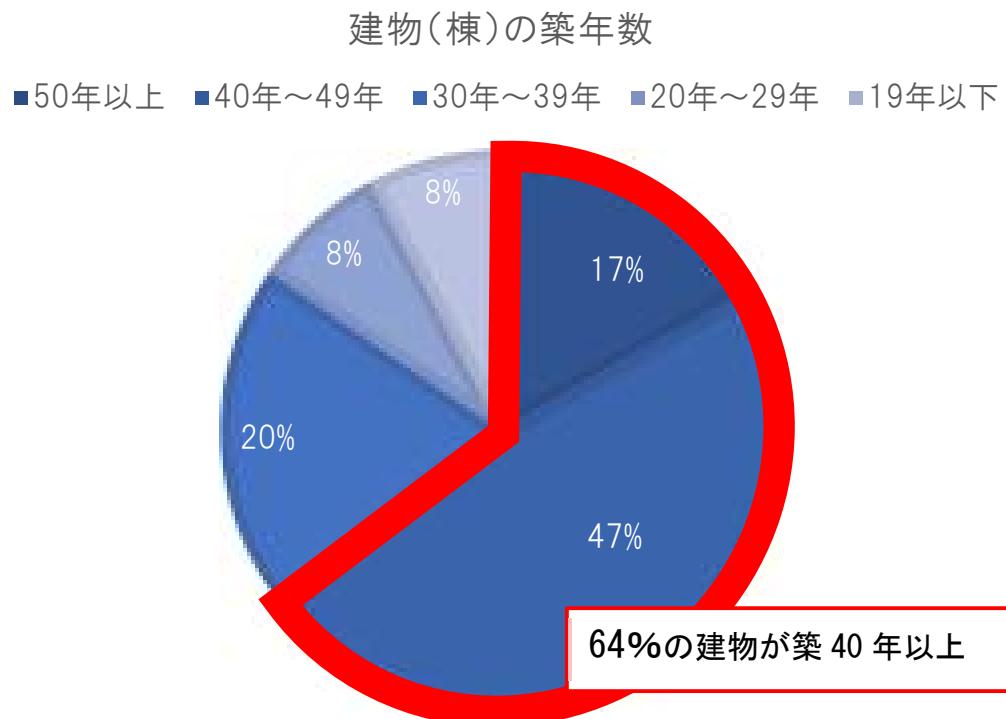


出典：厚木市教育委員会教育総務課作成資料

## (5) 学校施設の現状

現在、市内には市立小学校 23 校、市立中学校 13 校の合計 36 校 (155 棟) が整備されています。

令和 7 (2025) 年時点では、155 棟のうち 64% が築 40 年以上経過しており、計画的な維持・管理、長寿命化改修、再整備が必要な状況です。



出典：厚木市教育委員会教育総務課作成資料

## (6) I C T 環境の整備・活用状況

本市の I C T 環境の整備状況の結果は、全国及び神奈川県の平均値と比較し、同程度の割合です。

指標	厚木市	神奈川県	全国
教育用 PC 1 台当たりの児童・生徒数	0.9 人/台	0.9 人/台	0.9 人/台
普通教室の無線 LAN 整備率	98.9%	97.6%	97.8%
インターネット接続率 (100Mbps 以上) <sup>※1</sup>	100.0%	99.9%	98.0%
普通教室の大型提示装置 <sup>※2</sup> 整備率	87.3%	87.2%	88.6%
教員の校務用 PC 整備率 <sup>※3</sup>	117.7%	122.8%	126.7%
統合型校務支援システム整備率 <sup>※4</sup>	100.0%	93.4%	86.8%

※1 インターネット接続 (1 Gbps 以上) を整備している学校の総数を、学校の総数から LTE 等を用いて主として教育用に使用している学校を除いた数で除して算出した割合

※2 プロジェクタ、デジタルテレビ、電子黒板のこと

※3 校務用コンピュータの総数を教員の総数で除して算出した値のこと

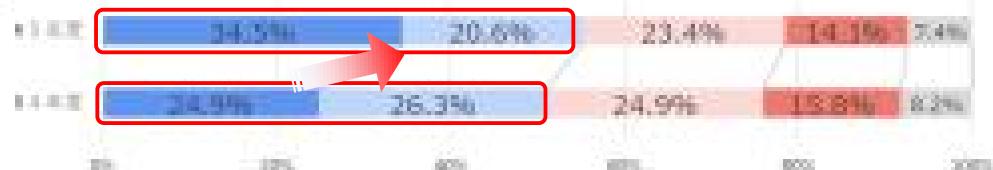
※4 統合型校務支援システムを整備している学校の総数を学校の総数で除して算出した値のこと

出典：文部科学省「令和 5 年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（令和 6 （2024）年）」

学校授業では、児童・生徒用タブレット端末 (G I G A スクール端末) の活用が進んでいます。

### Q.3 担当する授業における児童生徒のGIGAスクール端末の利用頻度

#### 小学校



#### 中学校



出典：厚木市教育委員会「令和 5 年度 G I G A スクール端末利用に関するアンケート結果（令和 6 （2024）年）」

### 3 子どもの状況の変化

#### (1) 全国学力・学習状況調査

##### ア 教科（国語、算数・数学）に関する調査結果

本市の児童・生徒の平均正答数・平均正答率は、全教科とも、全国公立学校の平均値と大きな差は見られません。



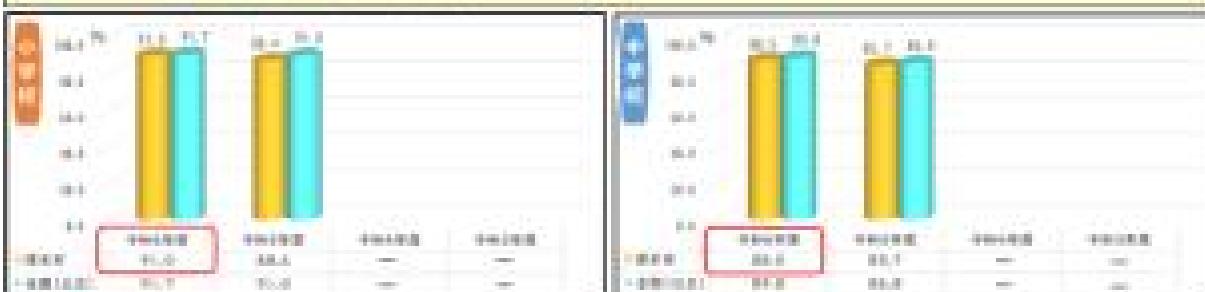
出典：厚木市教育委員会「令和6年度全国学力・学習状況調査に係る厚木市立小・中学校の調査結果について（令和6（2024）年）」

## イ 児童・生徒質問調査の結果

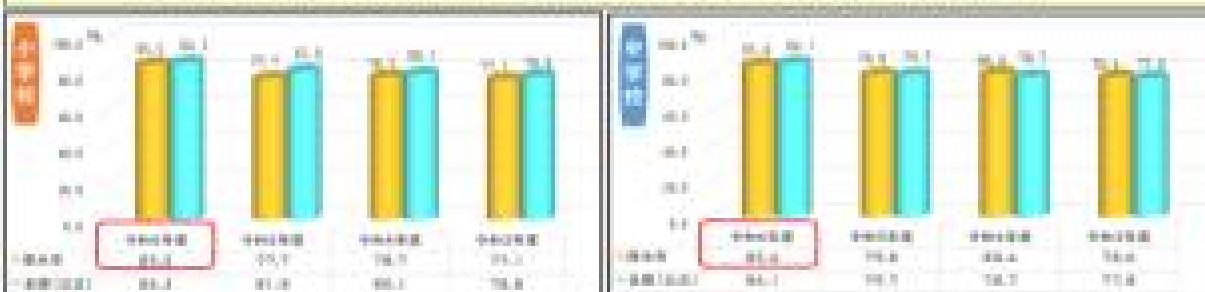
ウェルビーイングや他者と協調して生きていくための力、協働的な学びに関する設問について、全国平均値と大きな差は見られません。

学校の授業時間以外の学習時間について、児童・生徒とともに全国平均と比較し、高い水準です。

質問19 運動の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか  
(よくある・ときどきある)



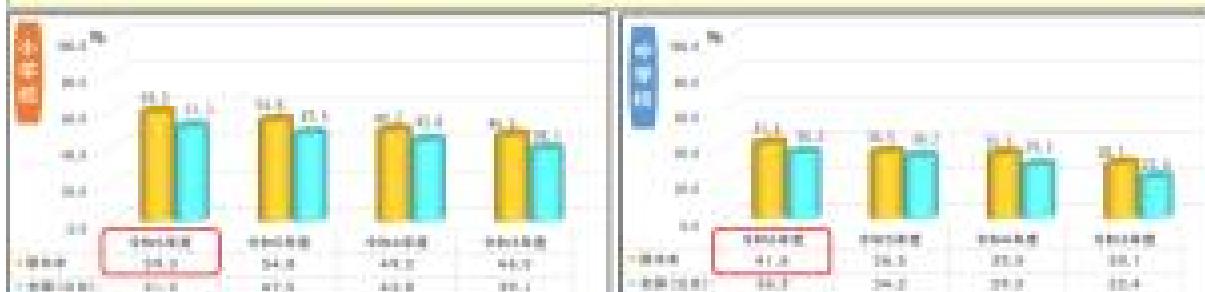
質問33 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方を試したりすることができている(当てはまる・どちらかどいえば、当てはまる)



質問37 授業や学校生活では、友達や周りの人々の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる(当てはまる・どちらかどいえば、当てはまる)



質問22 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(字書きで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)。(1時間未満)



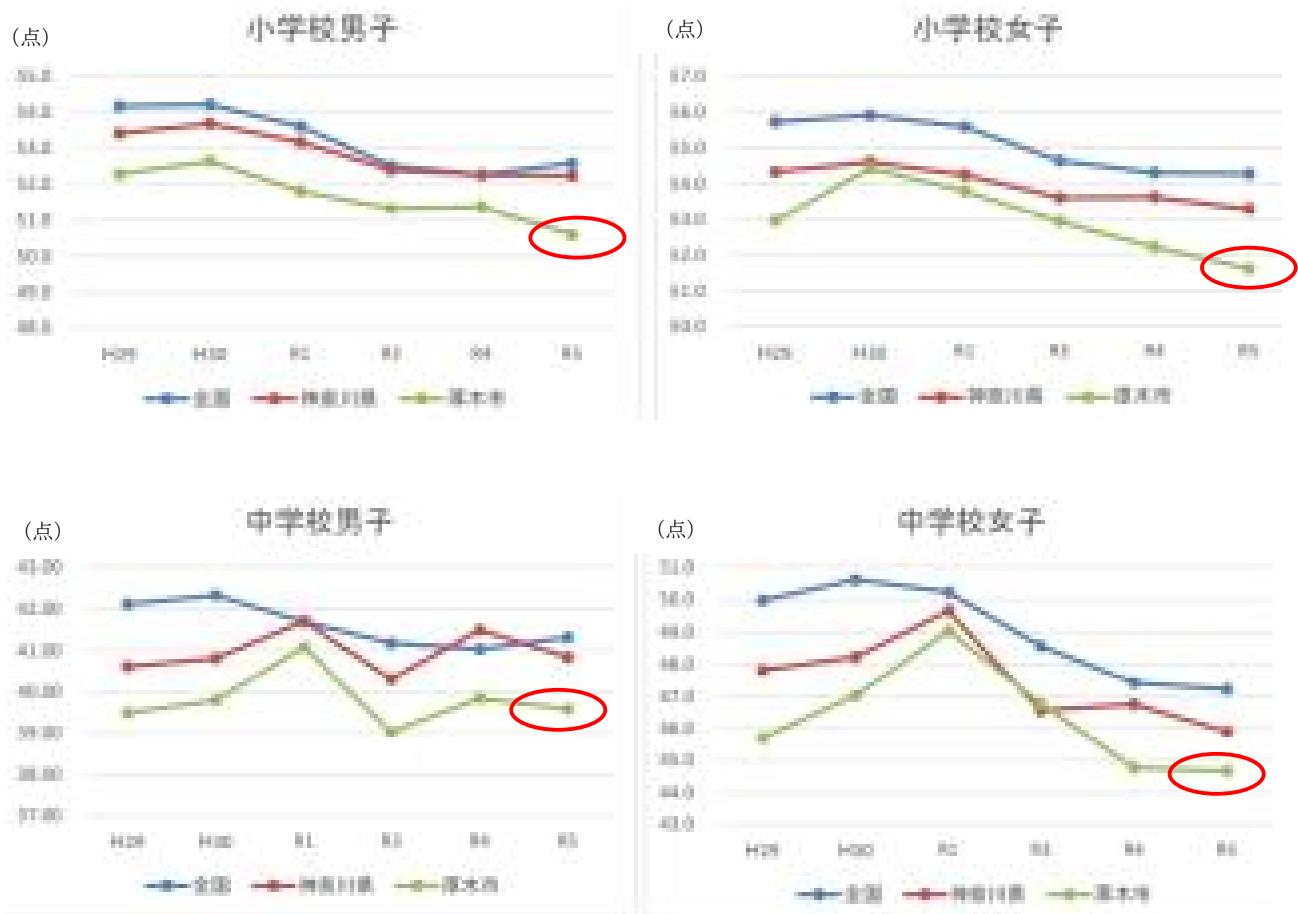
出典：厚木市教育委員会「令和6年度全国学力・学習状況調査に係る厚木市立小・中学校の調査結果について（令和6（2024）年）」

## (2) 全国体力・運動能力調査結果

本市の体力合計得点※の結果は、全国と比較し、小学校男女、中学校男女ともに低い水準です。

※握力や上体起こしなど8種目の合計得点。

### 【体力合計得点】



※H23は調査中止のためデータなし。

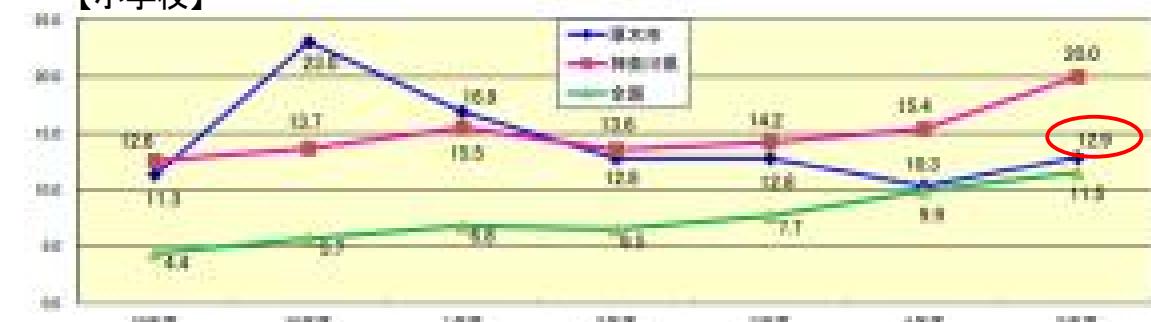
出典: スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(令和5(2023)年)」を基に、厚木市教育委員会教育指導課作成資料

### (3) 児童・生徒の問題行動等の諸問題に関する調査結果

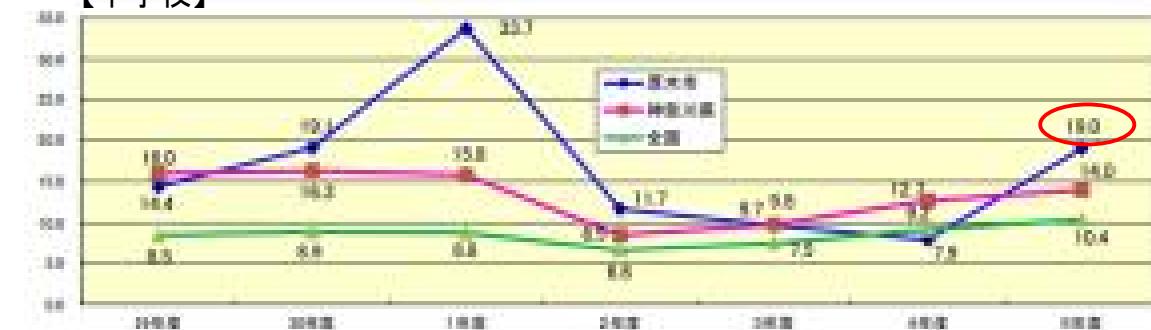
#### ア 暴力行為の発生率（児童・生徒 1,000 人当たりの発生件数）

本市の暴力行為の発生率について、児童・生徒とともに、近年、減少傾向にありましたが、令和 5 年度は増加に転じています。

##### (%) 【小学校】



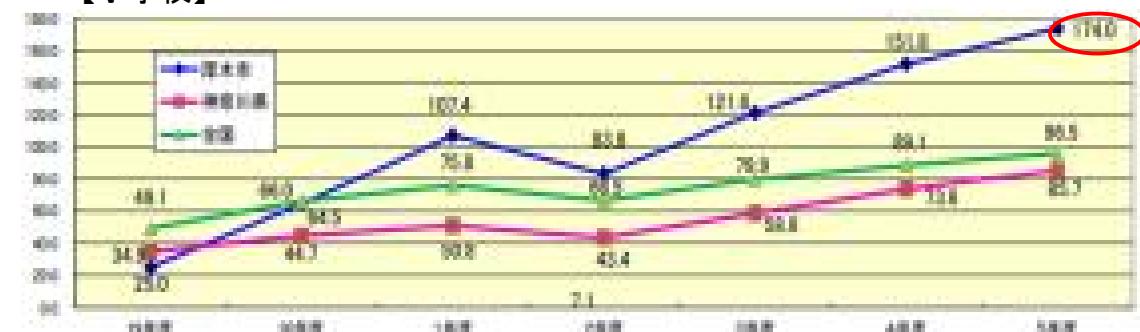
##### (%) 【中学校】



#### イ いじめの認知率（児童・生徒 1,000 人当たりの認知件数）

本市のいじめの認知率について、小学校では全国や神奈川県と比較し、高い水準で推移しています。中学校では全国や神奈川県と比較し、近年、低い水準です。

##### (%) 【小学校】



##### (%) 【中学校】



## ウ 不登校児童・生徒数の割合（児童・生徒総数に占める不登校児童・生徒数※の割合）

不登校児童・生徒数の割合について、小学校と比較し、中学校で高い割合です。

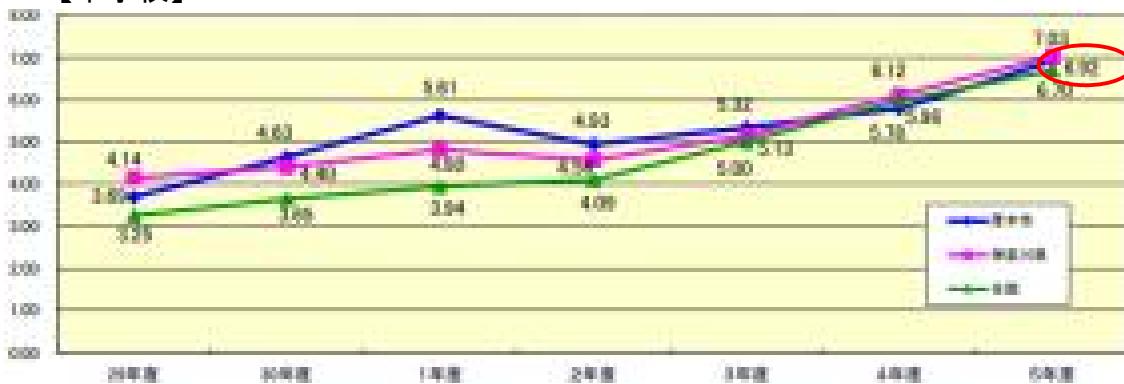
中学校では、全国、神奈川県及び本市のいずれも高い水準で推移しています。

※年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒のうち不登校を理由とする者

(%) 【小学校】



(%) 【中学校】



出典：文部科学省「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（令和5（2023）年）」を基に、厚木市教育委員会教育指導課・青少年教育相談センター作成資料

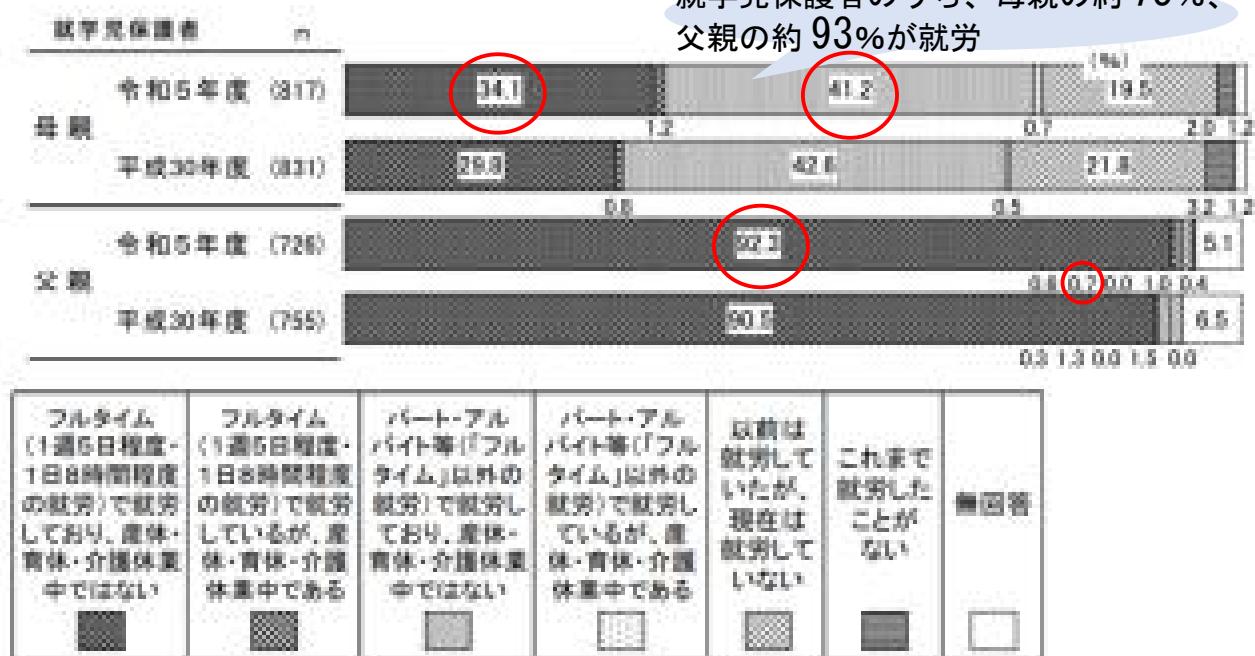
## 4 地域交流と生涯学習の変化

### (1) 地域コミュニティ機能と家庭教育の重要性

共働き家庭の増加や地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化しています。

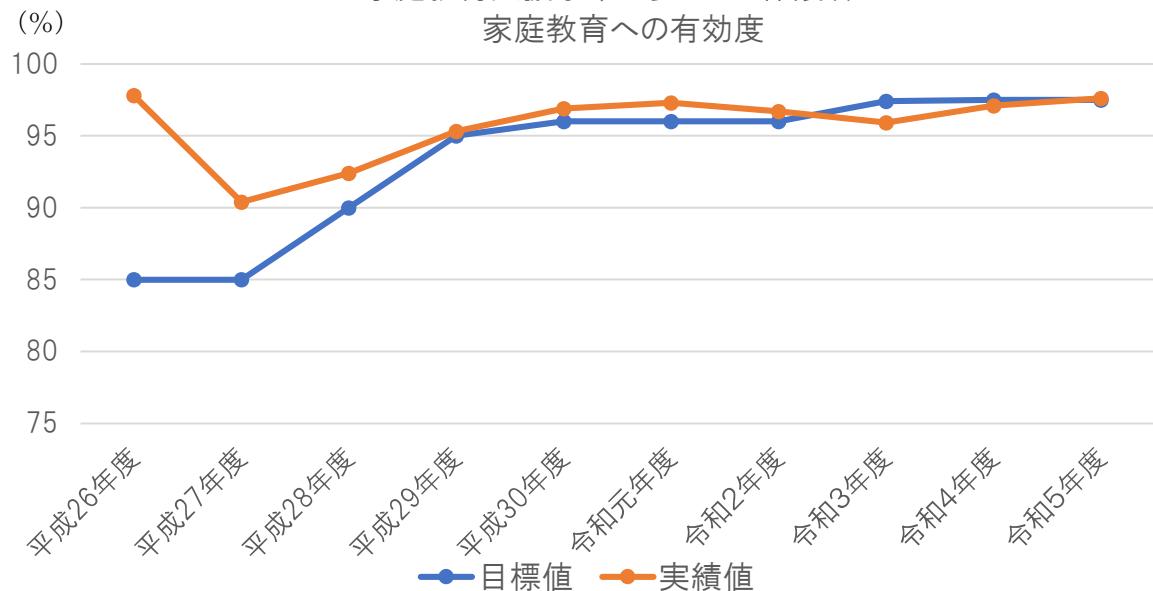
乳幼児及び小・中学生等の保護者などを対象に実施した家庭教育に必要な情報を提供するための講演会で行ったアンケート調査の家庭教育への有効度は、高い水準で推移しています。

就学児保護者のうち、母親の約75%、父親の約93%が就労



出典：厚木市こども育成課作成資料

家庭教育支援事業に参加した保護者の  
家庭教育への有効度

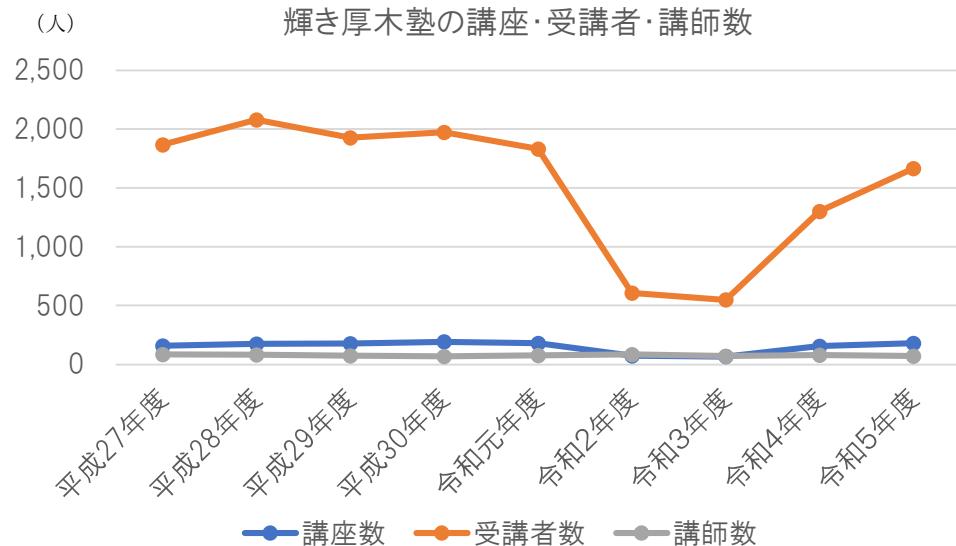


出典：厚木市市民協働推進課作成資料

## (2) 生涯学習（輝き厚木塾※）の参加者数

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2（2020）年度は低い水準となりましたが、令和5（2023）年度はコロナ禍前の水準に戻ってきました。

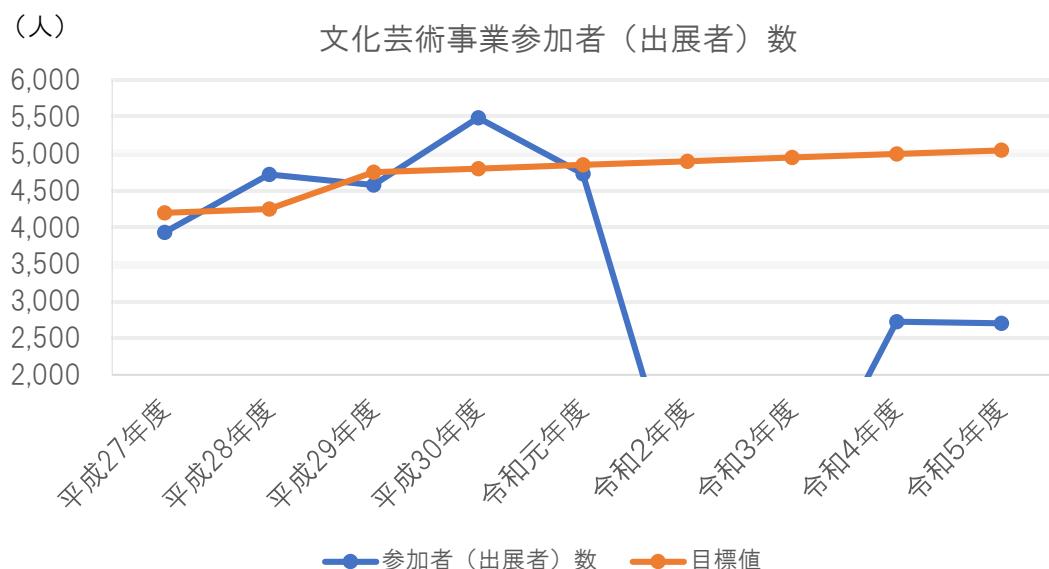
※市民が趣味や仕事で得た知識や経験を、他の市民に教える講座。市民講師が自ら企画し、運営する自主的な学びの場



出典：厚木市生涯学習課作成資料

## (3) 文化活動の実施状況

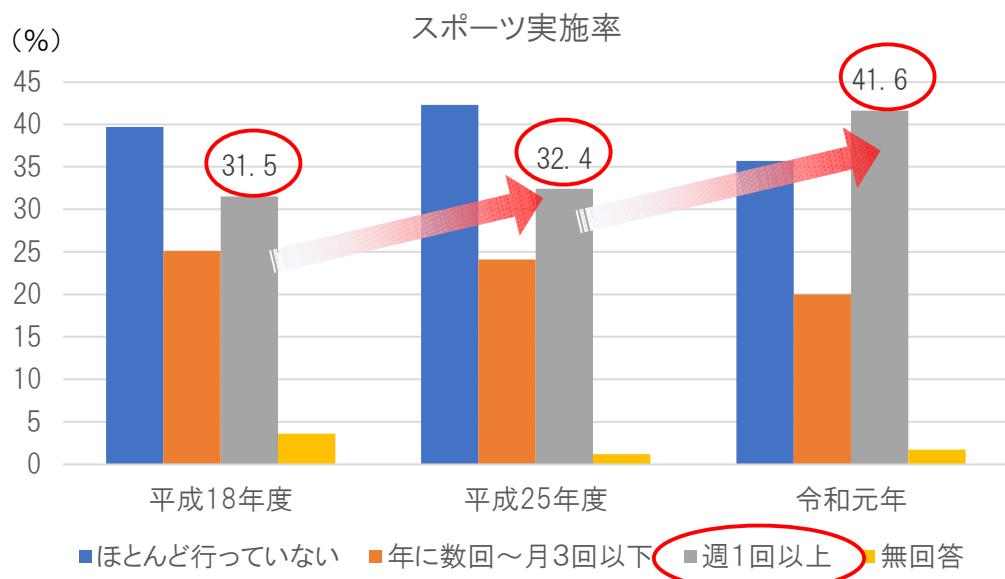
文化芸術活動の推進を測る指標として定めている、あつぎ市民芸術文化祭（野外彫刻造形展・市民文化祭・市民芸術祭・あつぎミュージックフェスティバル）の参加者（出展者）は、例年、目標値に対しあおむね達成に近い数値でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2（2020）年度及び令和3（2021）年度は事業が中止となりました。



出典：厚木市文化魅力創造課作成資料

#### (4) スポーツ活動の実施状況

16歳以上79歳以下の市民のスポーツ実施率について、前回調査（平成25年（2013）年度）と比較し、「週に1回以上行っている」が上昇するとともに、「ほとんど行っていない」が減少し、全体としてスポーツ実施率が向上しています。



出典：厚木市スポーツ魅力創造課作成資料

## 5 未来を見据えた課題

### (1) 幼保小連携

小学校の生活科の創設やスタートカリキュラムの編成・実施、幼保小間での交流行事などの取組が進みつつあるものの、形式的な連携にとどまるのではないかといった課題が挙げられます。

学びの連続性を踏まえて幼保小連携（幼稚園、保育所、小学校）の関係者が連携し、子どもの発達にとって重要な遊びを通して質の高い幼児教育・保育を保障しながら、幼児教育・保育と小学校教育の円滑な接続を図る必要があります。

## 6 市民意識の把握

### (1) 市民実感度調査

令和5（2023）年度に実施した厚木市民実感度調査は、市内在住の18歳以上の男女5,000人を対象に実感度<sup>※1</sup>と重要度<sup>※2</sup>の調査を行い、次の結果が得られました。

※1 市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感

※2 それぞれの取組の今後の重要度

#### ア 実感度（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）

実感度について、各項目おおむね30～40%の実感度で、「運動・スポーツ活動の機会の提供」が高い割合です。

1～14項目の平均は全体平均と比較し、低い割合です。

No.	質問項目	割合(%)
学校教育の充実について		
1	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている。	33.9
2	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	31.7
3	安全な教育環境の整備が進められている	43.1
4	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進められている	32.3
地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進について		
5	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進められている	32.0
6	家庭・地域・学校の協働が推進されている	34.4
7	生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進められている	35.6
8	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進められている	36.2
文化芸術の振興について		
9	文化芸術に親しむ機会が提供されている	41.7
10	郷土文化の継承と発展が進められている	36.7
11	あつぎ郷土博物館の取組が進められている	38.3
生涯スポーツの振興について		
12	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	51.9
13	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	35.9
14	スポーツ施設が充実している	40.1
1～14項目の平均		37.4
(参考) 全体平均		40.1

イ 重要度（「重要である」と「やや重要である」の合計））

重要度について、全体平均と比較し、「学校教育の充実について」の割合が高く、「文化芸術の振興について」の割合は低いです。

1～14 項目の平均は全体平均と比較し、6.5%低い割合です。

No.	質問項目	割合(%)
<b>学校教育の充実について</b>		
1	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている。	87.6
2	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	86.1
3	安全な教育環境の整備が進められている	86.5
4	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進められている	83.2
<b>地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進について</b>		
5	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進められている	75.3
6	家庭・地域・学校の協働が推進されている	78.1
7	生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進められている	76.9
8	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進められている	73.7
<b>文化芸術の振興について</b>		
9	文化芸術に親しむ機会が提供されている	61.6
10	郷土文化の継承と発展が進められている	59.5
11	あつぎ郷土博物館の取組が進められている	54.8
<b>生涯スポーツの振興について</b>		
12	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	76.1
13	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	67.2
14	スポーツ施設が充実している	73.5
<b>1～14 項目の平均</b>		<b>74.3</b>
(参考) 全体平均		80.8

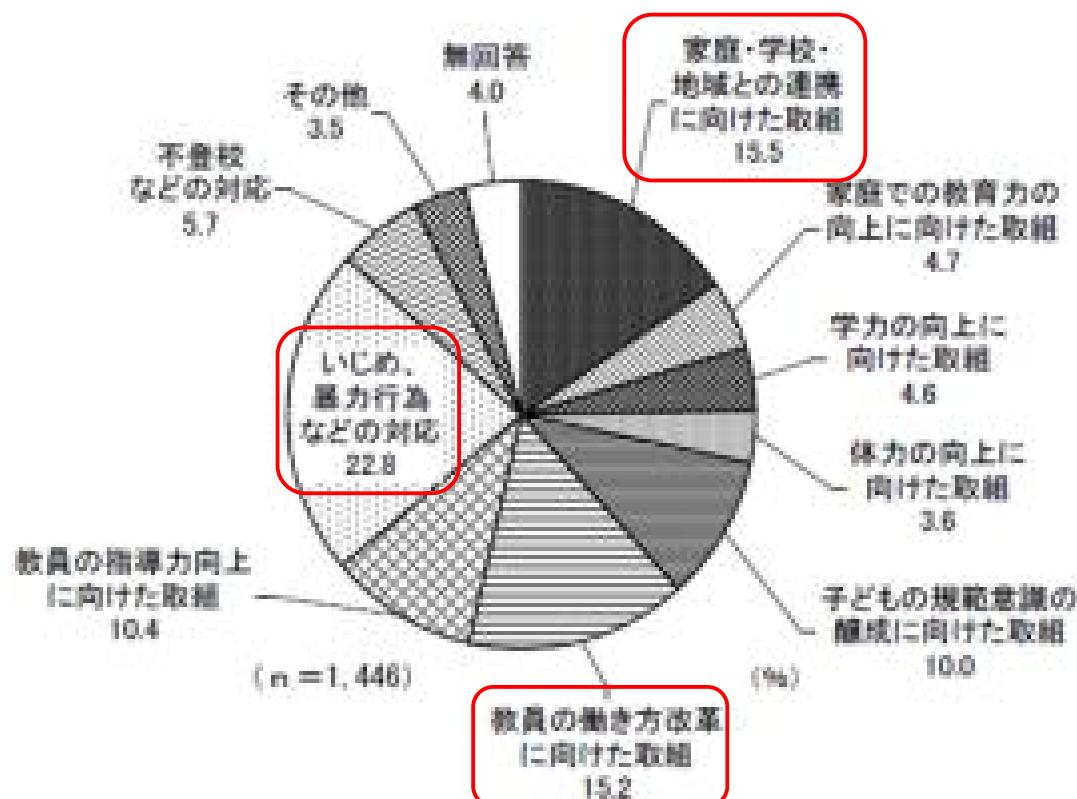
出典：厚木市「令和5年度 厚木市民実感度調査報告書（令和6（2024）年）」

## (2) 市民意識調査

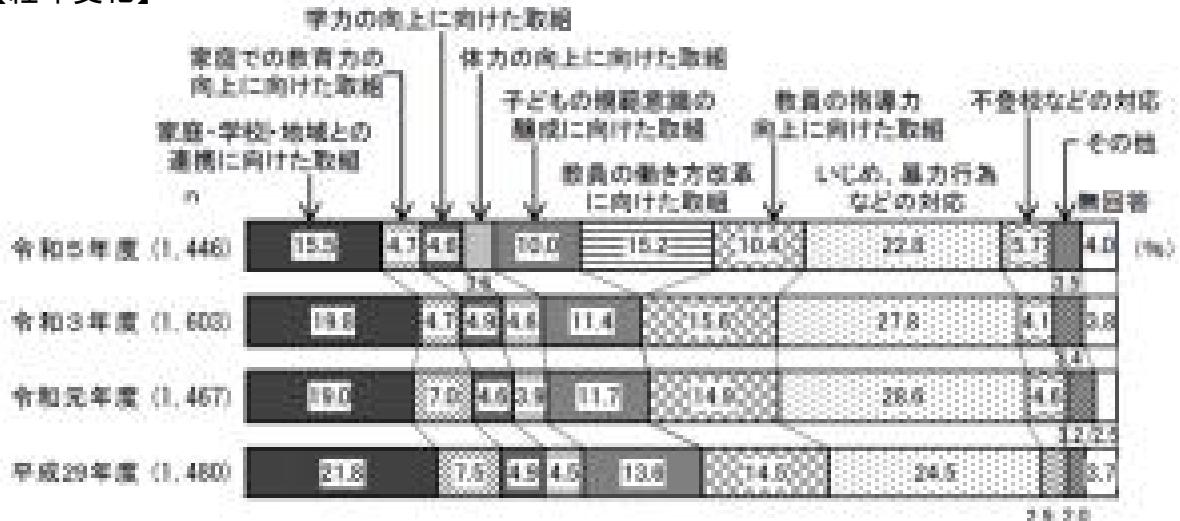
令和5（2023）年度に実施した厚木市民意識調査は、市内在住の18歳以上の男女6,000人を対象に調査を行い、次の結果が得られました。

### ア 【設問】現在の教育において、どのような取組が重要か。

「いじめ、暴力行為などの対応（22.8%）」を重要と考えている市民の割合が最も多く、次いで「家庭・学校・地域との連携に向けた取組（15.5%）」、「教員の働き方改革に向けた取組（15.2%）」と続いています。

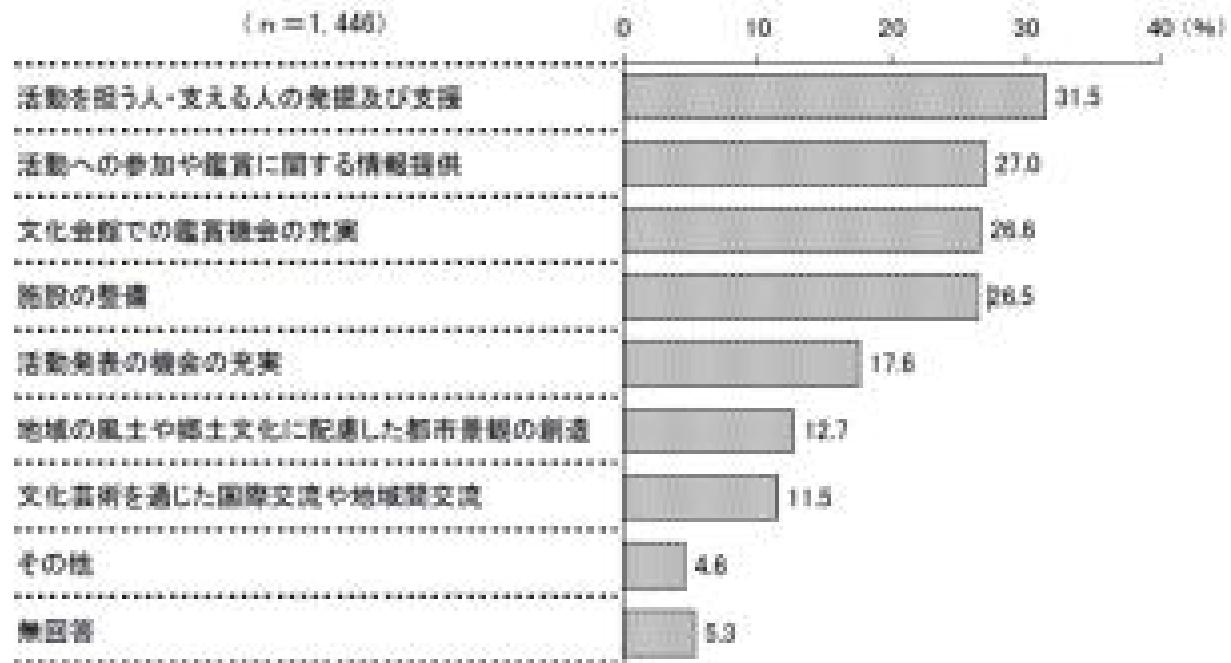


### 【経年変化】



イ 【設問】文化芸術活動をより充実させるために、どのような取組が必要か。

「活動を担う人・支える人の発掘及び支援（31.5%）」を重要と考えている市民の割合が最も多く、次いで「活動への参加や鑑賞に関する情報提供（27.0%）」、「文化会館での鑑賞機会の充実（26.6%）」と続いています。

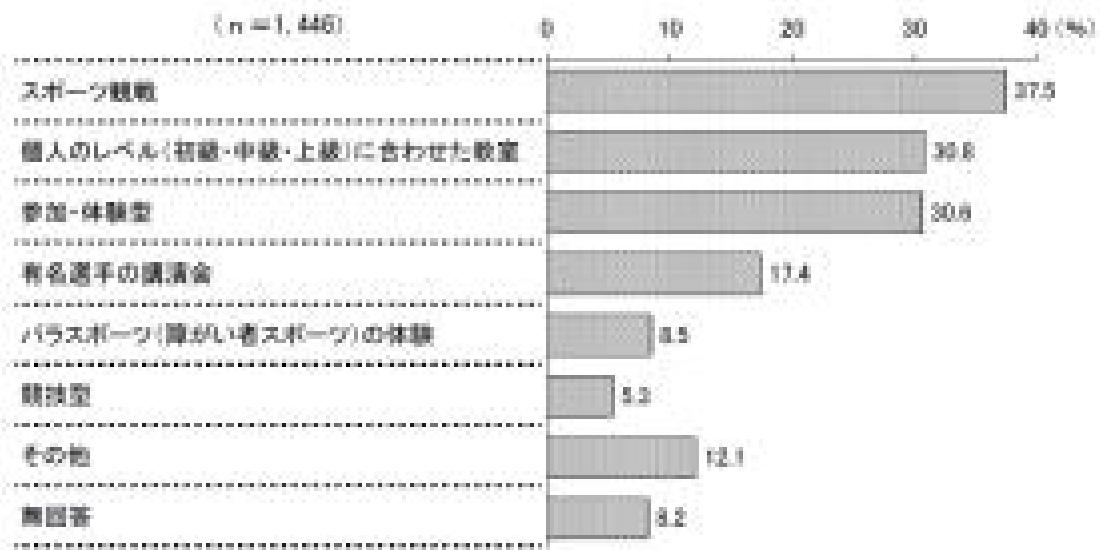


【経年変化】

年	令和3年度 [n=1,446]	令和2年度 [n=1,800]	令和元年度 [n=1,446]	平成30年度 [n=1,480]	平成29年度 [n=1,445]	平成28年度 [n=1,298]	平成27年度 [n=1,015]	平成26年度 [n=1,804]
1 活動を担う人・支える人の発掘及び支援	31.5	31.1	32.8	32.8	31.0	34.3	34.5	33.2
2 活動への参加や鑑賞に関する情報提供	27.0	27.2	31.1	31.4	32.1	32.5	30.7	30.9
3 文化会館での鑑賞機会の充実	26.6	23.7	26.1	24.8	21.5	20.1	20.4	20.5
4 地域の整備	20.5	21.2	23.6	20.7	23.7	26.5	25.3	25.7
5 活動機会の機会の充実	17.6	16.4	16.1	15.3	18.4	22.6	22.9	22.1

ウ 【設問】今後、どのようなスポーツイベントを開催してほしいか。

「スポーツ観戦（37.5%）」できるイベントを開催してほしいと考える市民の割合が最も多く、次いで「個人のレベルに合わせた教室（30.8%）」、「参加・体験型（30.6%）」と続いている。



【経年変化】

表題～5～1 開催してほしいスポーツイベント～経年変化（上位10項目）

順位	令和5年度 (n=1,446)	令和6年度 (n=1,683)	令和元年度 (n=1,407)	平成29年度 (n=1,408)	平成30年度 (n=1,445)	平成31年度 (n=1,294)	平成32年度 (n=894)	平成33年度 (n=1,610)
1	スポーツ観戦 37.5	スポーツ観戦 37.5	スポーツ観戦 38.2	スポーツ観戦 39.5	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 38.9	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 24.1	参加型の大会 やイベント 24.4	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 22.9
2	個人のレベル (初級・中級・ 上級)に合わせ た教室 30.8	個人のレベル (初級・中級・ 上級)に合わせ た教室 31.3	参加・体験型 24.2	参加・体験型 23.8	参加型の大会 やイベント 25.5	参加型の大会 やイベント 18.1	初心者向けの スポーツ教室 やイベント 22.5	参加型の大会 やイベント 18.8
3	参加・体験型 30.6	参加・体験型 31.8	個人のレベル (初級・中級・ 上級)に合わせ た教室 29.4	個人のレベル (初級・中級・ 上級)に合わせ た教室 31.2	計画課で実施 する各種 スポーツイベン トやスポーツ 教室 29.3	企画課で実施 する各種 スポーツイベン トやスポーツ 教室 18.8	有名スポーツ 選手を招いて の講演会や スポーツ教室 イベント 19.8	有名スポーツ 選手を招いて の講演会や スポーツ教室 イベント 18.2
4	有名選手の 講演会 17.4	有名選手の 講演会 15.8	有名選手の 講演会 18.1	有名選手の 講演会 16.5	有名スポーツ 選手を招いて の講演会や スポーツ教室 イベント 16.8	有名スポーツ 選手を招いて の講演会や スポーツ教室 イベント 13.3	企画課で実施 する各種 スポーツイベン トやスポーツ 教室 15.2	企画課で実施 する各種 スポーツイベン トやスポーツ 教室 14.2
5	パラスポーツ (障がい者 スポーツ)の 体験 8.5	パラスポーツ (障がい者 スポーツ)の 体験 7.7	パラスポーツ (障がい者 スポーツ)の 体験 18.0	パラスポーツ (障がい者 スポーツ)の 体験 7.8	競歩を競う 大会やイベント 6.8	競歩を競う 大会やイベント 4.0	競歩を競う 大会やイベント 4.3	競歩を競う 大会やイベント 4.0

出典：厚木市「令和5年度 厚木市民意識調査報告書（令和6（2024）年）」

## 7 その他（教育関係予算について）

市の教育費に係る経費については、令和5年度決算ベースでは、95.4億円になっており、市全体の決算額の約9.4%程度になります。

目的別に分類すると、全体の39.3%が社会福祉サービスなどの民生費に使われ、次いで衛生費（13.9%）、総務費（13.0%）、土木費（11.3%）、教育費（9.4%）の順に多くのお金が使われています。





**歳出目的別経費** (単位: 億円)

歳出目的	H15	H20	H25	H30	R5
賃料費	85.2	120.0	84.8	130.4	131.6
医療費	151.0	203.0	209.6	231.4	209.7
土木費	148.4	124.0	106.8	129.1	114.8
教育費	81.1	88.5	70.8	85.0	95.4
公債費	78.0	73.2	63.9	57.7	51.7
その他	125.4	147.0	149.0	156.6	223.9
合計	719.1	764.3	744.9	889.2	1,016.5

出典：厚木市「あつぎの財政状況（令和6（2024）年度）」